



# 決算説明会

---

平成19年3月期（第25期）



平成19年 5月 30日

【4570】 株式会社 免疫生物研究所




# 決算概要・経営方針

---

平成19年3月期（第25期）  
決算内容について

株式会社 免疫生物研究所

代表取締役社長 清藤 勉



# 平成19年3月期総括

---

## 【研究用試薬関連事業】

国立大学等の法人化、競業他社の新製品の影響など環境悪化に対処

⇒ 営業力の強化 ⇒ 増収へ

新製品 23 品目

## 【実験動物関連事業】

初の自社品の開発に着手

## 【医薬関連事業】

抗ヒトアミロイドβ抗体(82E1): 米国Intellect Neurosciences, Inc.に導出

抗ヒトオステオポンチン抗体(2K1): 第 I 相臨床試験開始

BSE 診断キット「ニッピブル」の販売開始

## 【その他事業】

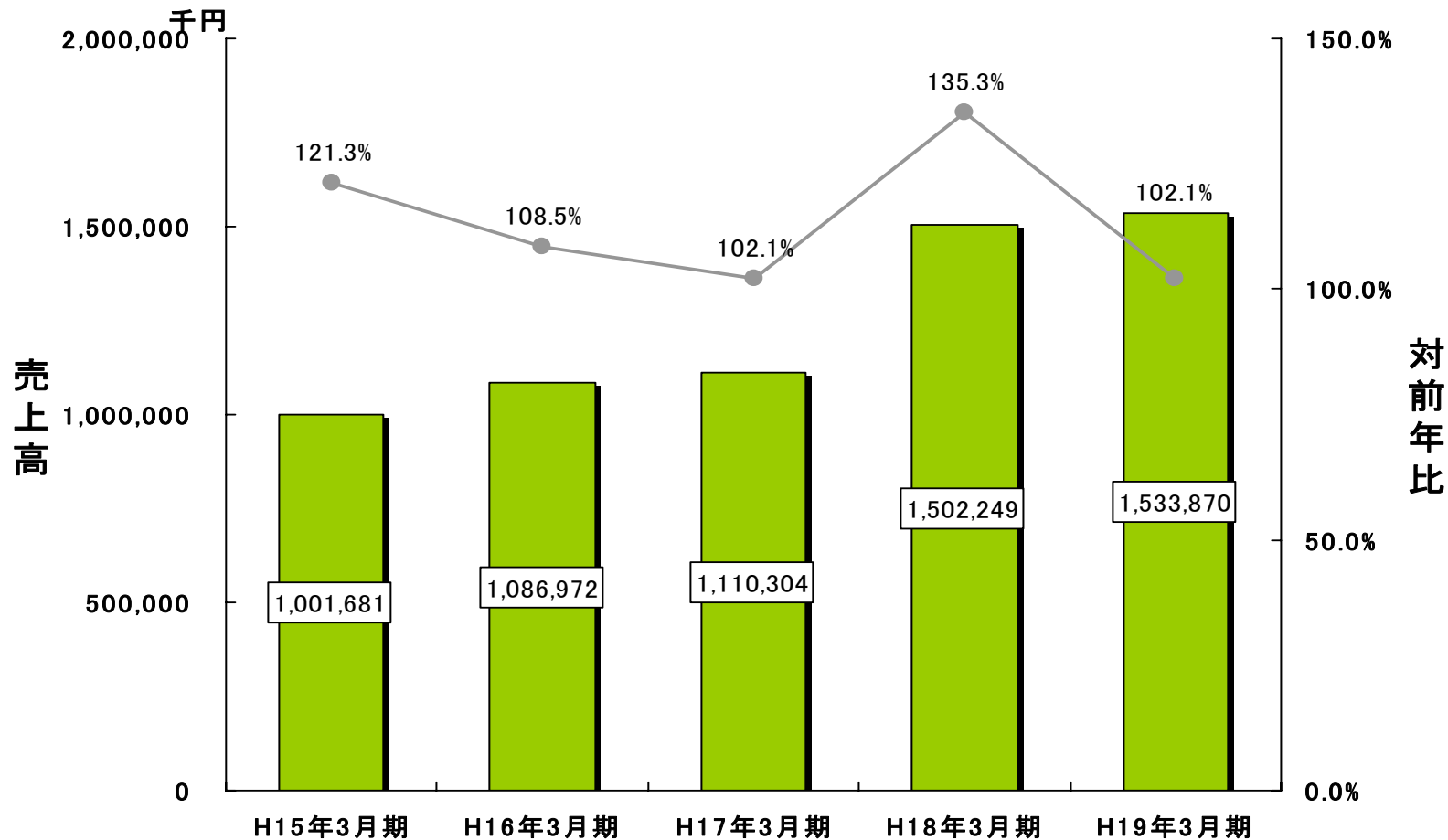
クレアチンを水溶化した飲料水の販売開始

# 決算実績

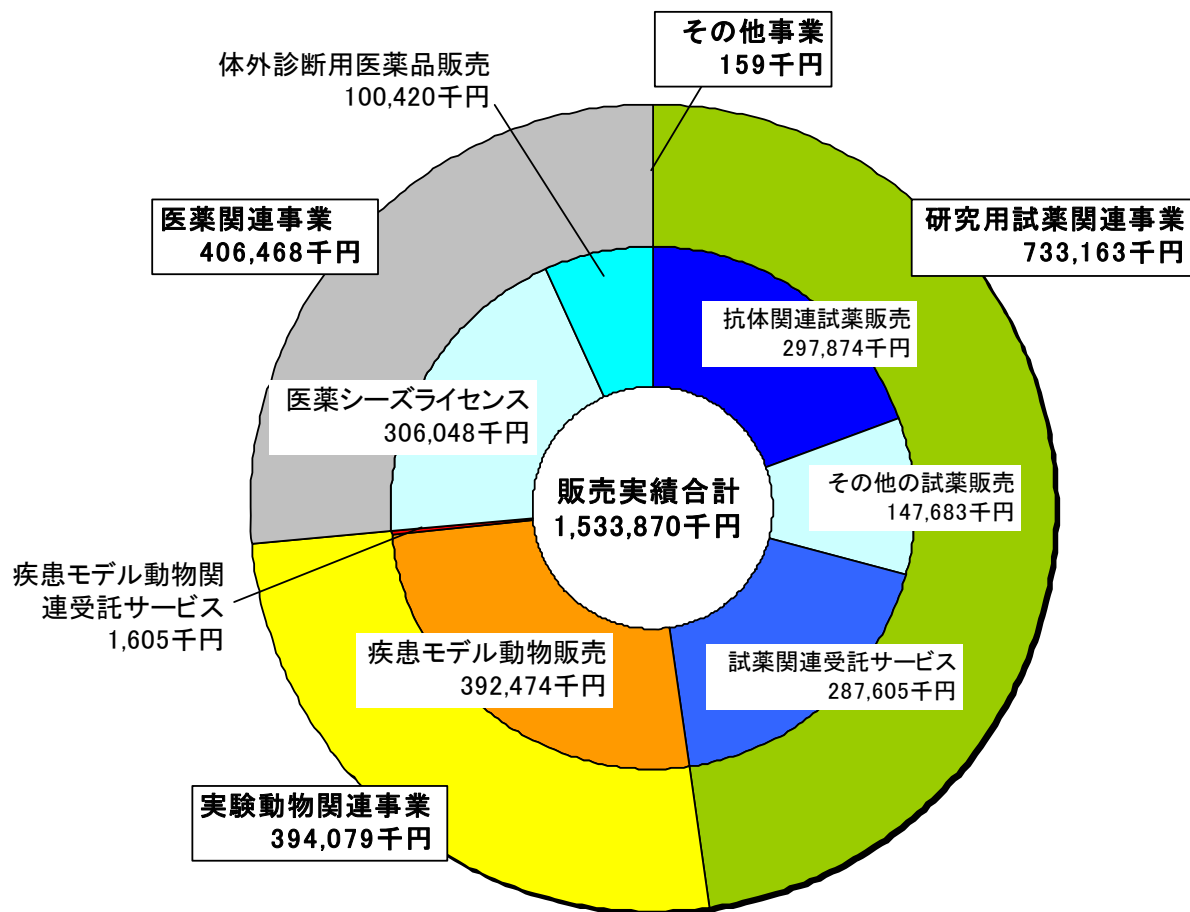
(千円)

	H19年3月期 (第25期)	H18年3月期 (第24期)	前期比増減
売上高	1,533,870	1,502,249	+ 31,621 (+2.1%)
営業利益	76,065	41,694	+ 34,371 (+82.4%)
経常利益	40,618	27,322	+ 13,295 (+48.7%)
当期純利益	105,382	51,477	+ 53,904 (+104.7%)

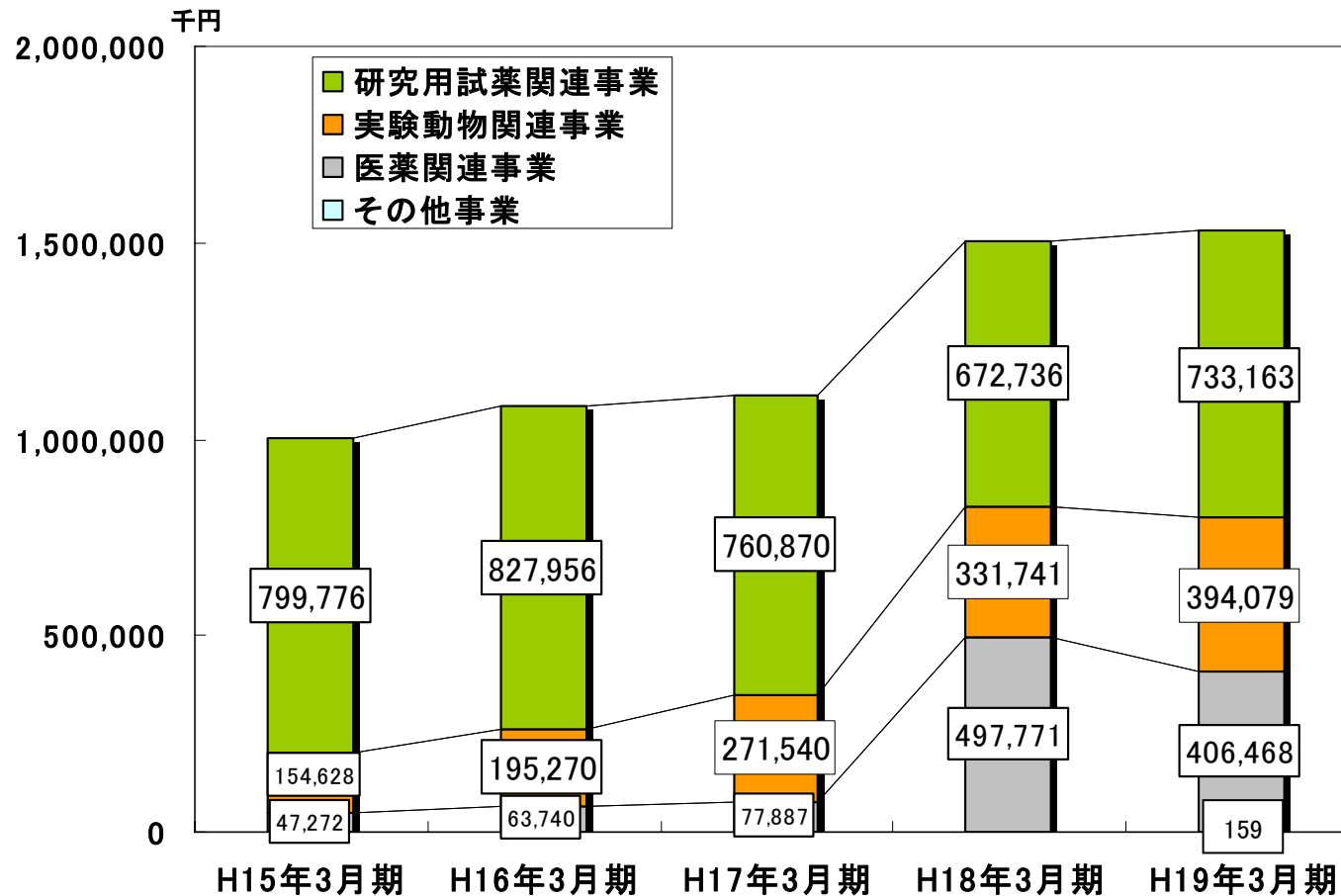
# 売上高推移



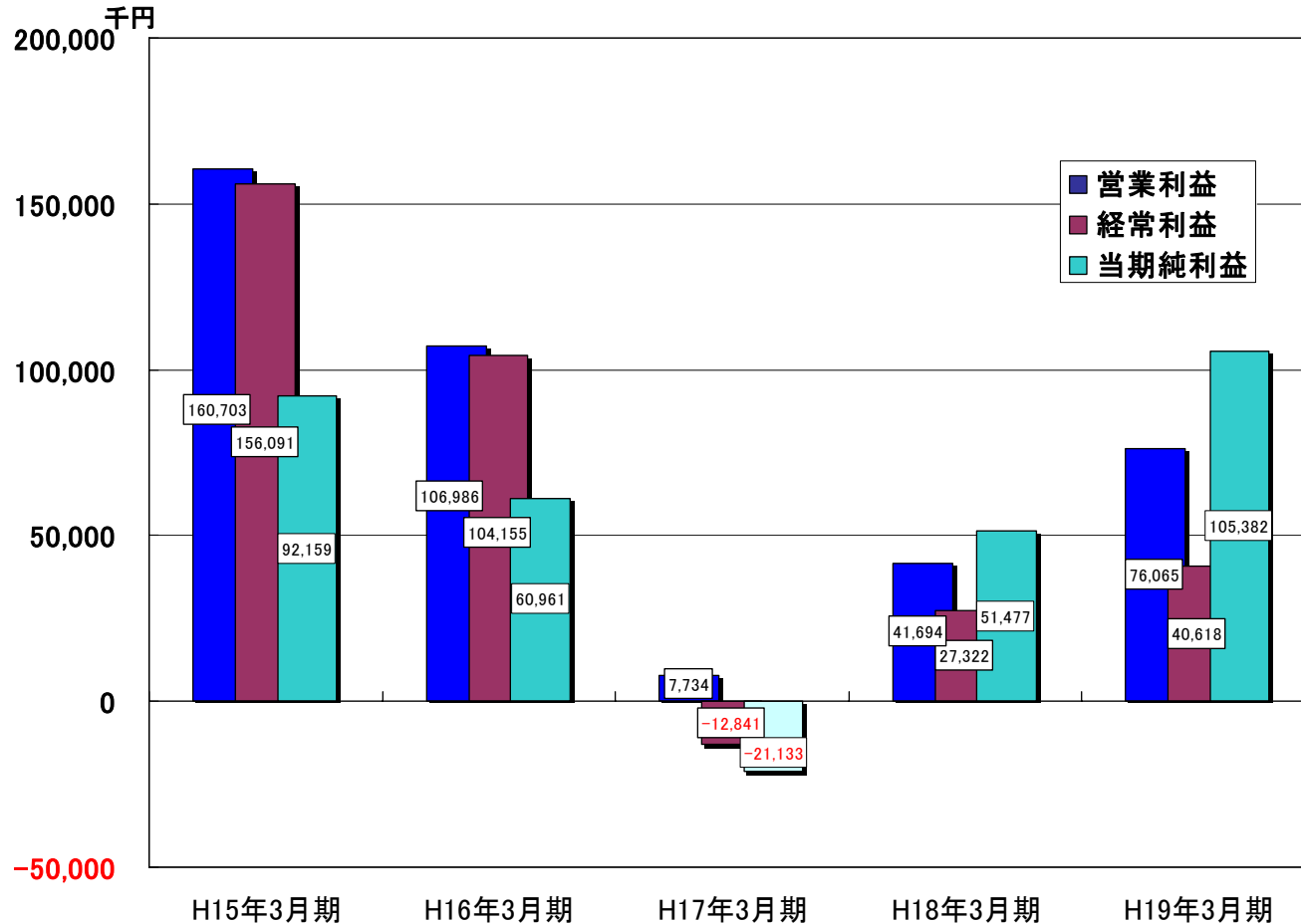
# セグメント別売上



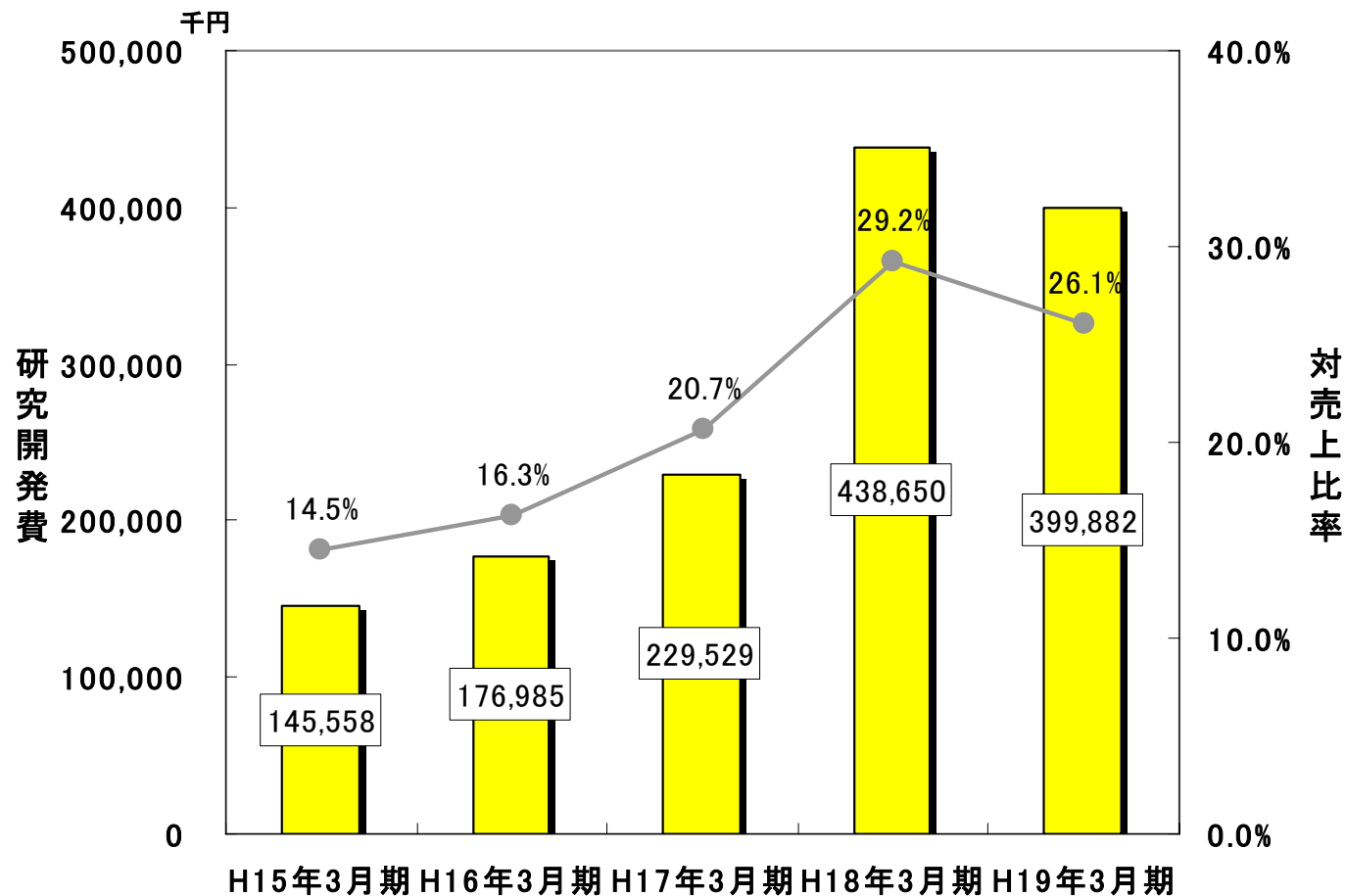
# セグメント別売上推移



# 営業利益・經常利益・ 当期純利益推移



# 研究開発費



# 貸借対照表

(千円)

	平成19年 3月末	平成18年 3月末	増減額		平成19年 3月末	平成18年 3月末	増減額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	1,879,212	1,415,736	463,476	流動負債	255,859	671,947	-416,087
固定資産	1,609,360	1,504,591	104,768	固定負債	107,136	219,930	-112,793
有形固定資産	1,470,931	1,373,275	97,655	<b>負債合計</b>	<b>362,996</b>	<b>891,877</b>	<b>-528,881</b>
無形固定資産	87,602	82,056	5,546	(純資産の部)			
投資その他の資産	50,826	49,259	1,566	資本金	1,569,500	1,058,000	511,500
				資本剰余金	1,414,268	902,768	511,500
				利益剰余金	141,808	67,682	74,126
				株主資本	3,125,576	2,028,450	1,097,126
				<b>純資産合計</b>	<b>3,125,576</b>	<b>2,028,450</b>	<b>1,097,126</b>
<b>資産合計</b>	<b>3,488,572</b>	<b>2,920,327</b>	<b>568,244</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>3,488,572</b>	<b>2,920,327</b>	<b>568,244</b>

# キャッシュ・フロー

(千円)

	H19年3月期 (第25期)	H18年3月期 (第24期)
営業活動による キャッシュ・フロー	171,506	362,867
投資活動による キャッシュ・フロー	-226,403	1,386
財務活動による キャッシュ・フロー	480,043	83,030
現金及び現金同等物 の期末残高	1,289,004	863,920

# 業績予想

(千円)

	H20年3月期 (第26期) 予想	H19年3月期 (第25期) 実績	前期比増減
売上高	1,747,600	1,533,870	+ 213,729 (+13.9%)
営業利益	110,000	76,065	+ 33,934 (+44.6%)
経常利益	130,000	40,618	+ 89,381 (+220.1%)
当期純利益	80,000	105,382	- 25,382 (-24.1%)



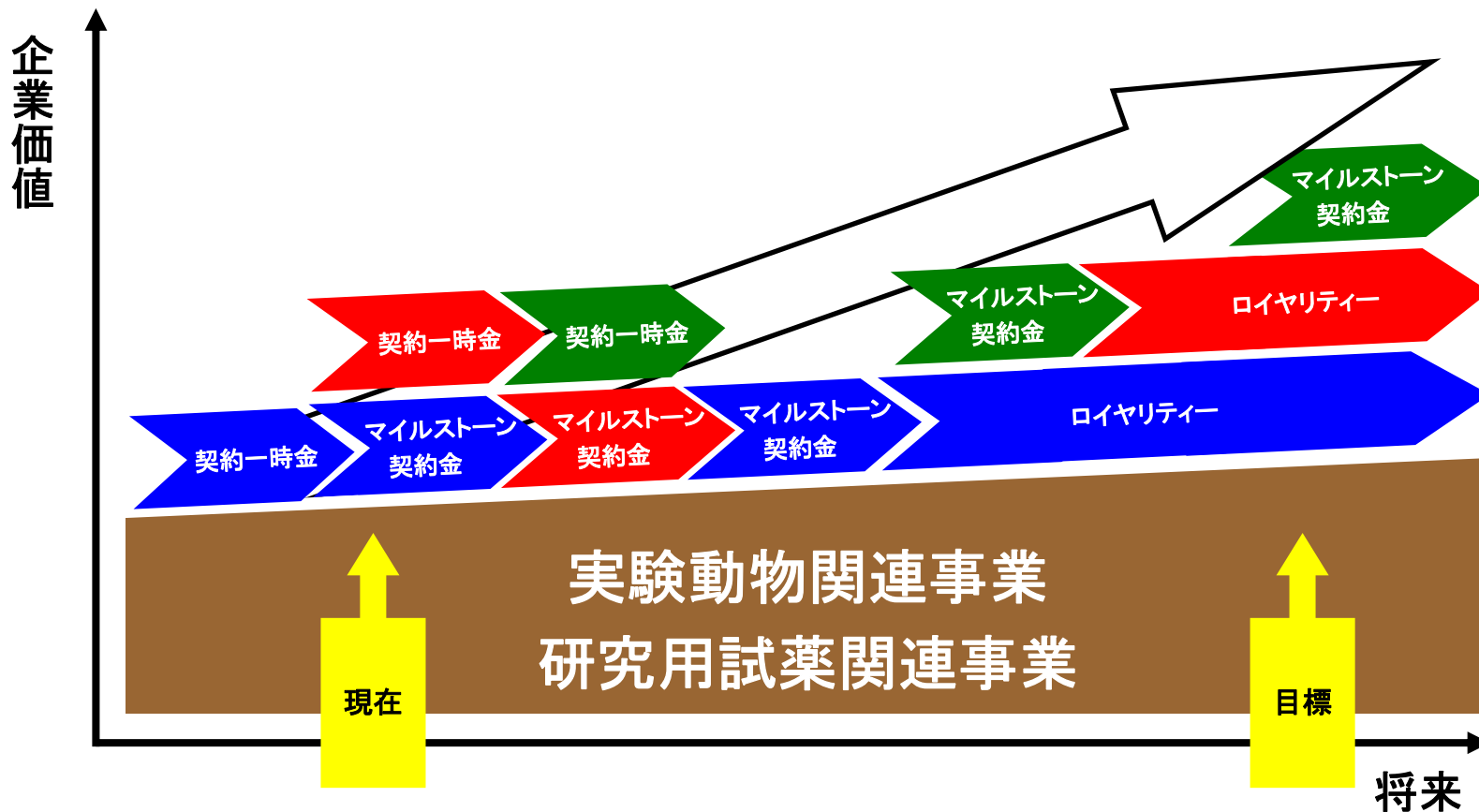
# 経営方針

---

## 経営理念

「抗体」を通じて、世界で難病に苦しむ人々が、1日も早く、病気を克服し、明るく豊かな暮らしを営めるよう社会に貢献いたします。

# 目指すビジネスモデル





# 主要な経営課題

---

## 【研究用試薬関連事業/ 医薬関連事業】

差別化された付加価値の高い自社製品の開発

社外：アカデミアとの連携強化

社内：研究所組織に対する改革

## 【実験動物関連事業】

初の自社品第一号の国内発売、海外導出をも視野に

## 【医薬関連事業】

抗ヒトオステオポンチン抗体(2K1)：第Ⅱ相臨床試験の開始

経常的な導出

## 【その他事業】

水溶化クレアチン「アズノン」の拡販



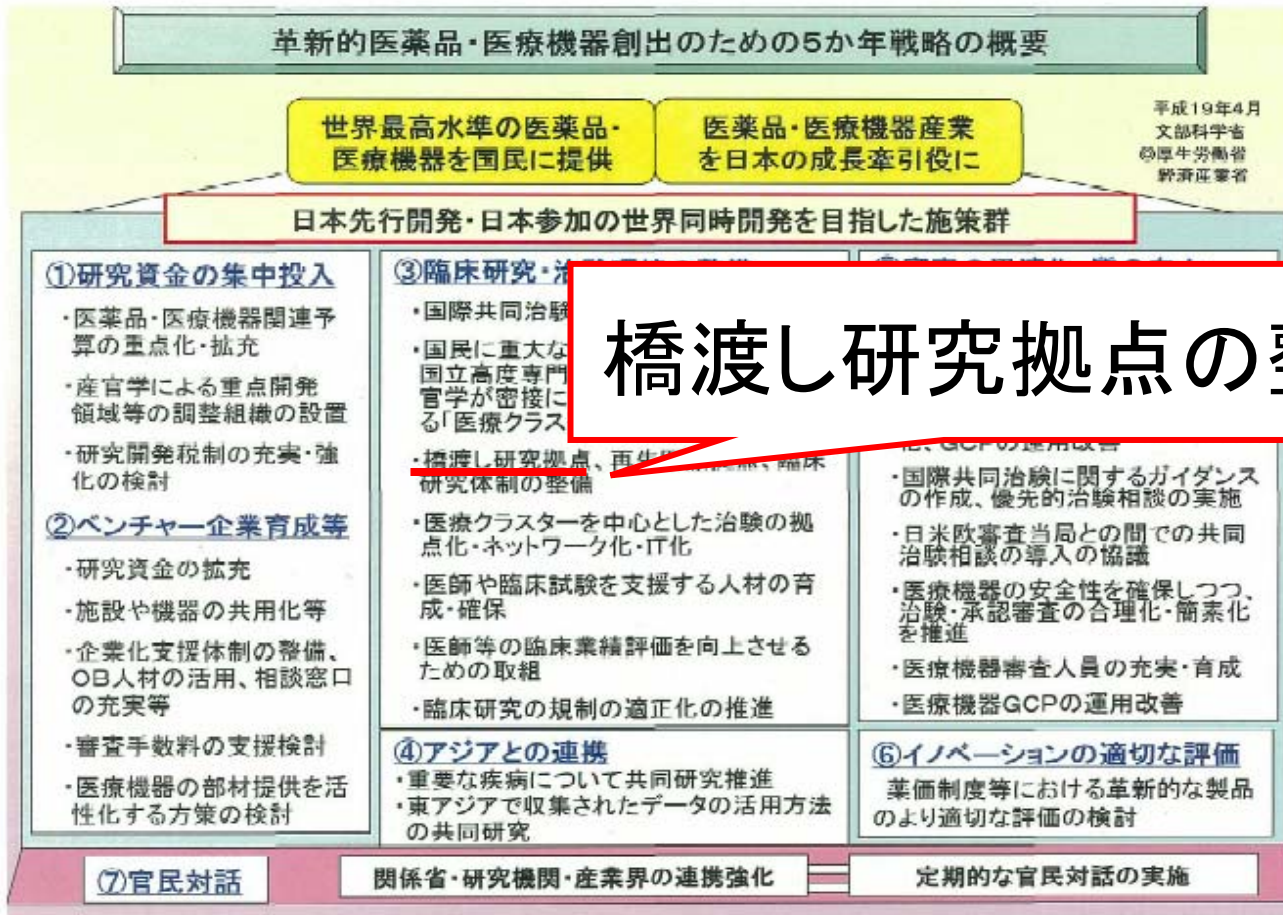
# パイプライン

---

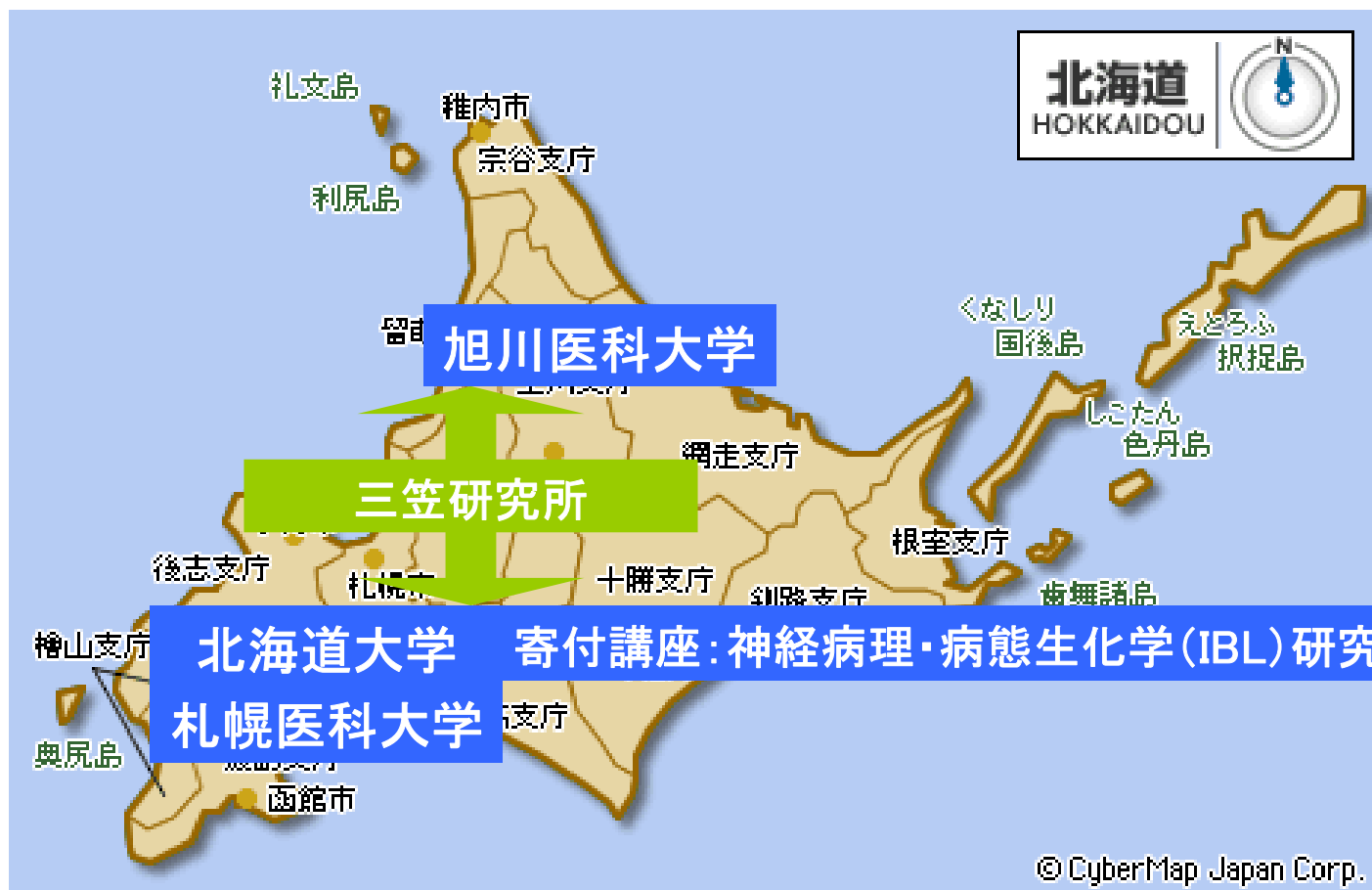
## 【導出/販売計画パイプライン】

- がん 体内および体外診断用医薬品
- アスベスト中皮腫 体外診断用医薬品
- 自己免疫疾患 体外診断用医薬品
- アトピー性皮膚炎モデル 疾患モデル動物
- 認知症モデル 疾患モデル動物

# アカデミアとの連携強化



# アカデミアとの連携強化

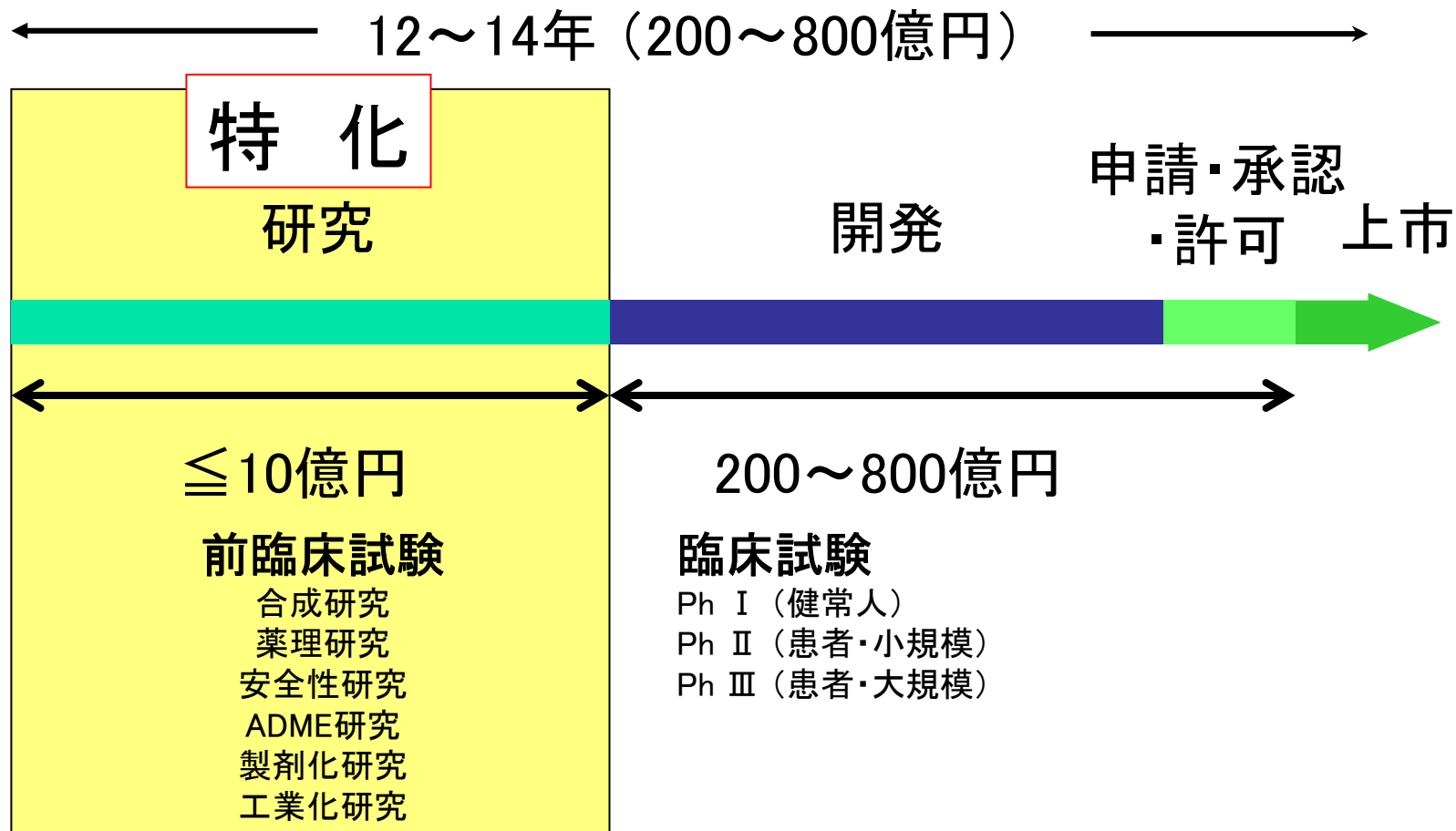


# 抗体の治療用医薬品市場

Name	Type	Antigen	Indication	Company	Approval
Orthoclone	Mouse	CD3	Transplantation	J&J	1986
Zevalin	Mouse	CD20	NHL	ScheringAG/IDEC	2002
Bexxar	Mouse	CD20	NHL	Corixa/GSB	2003
Rituxan	Chimera	CD20	NHL/RA	Roche/Genentech/IDEC	1997
ReoPro	Chimera	GPIIb/IIIa	Thrombosis	Lilly/Centocor	1994
Remicade	Chimera	TNF	Inflammation	Schering-Plough/Centocor	1998
Simulect	Chimera	CD25	Transplantation	Novartis	1998
Erbix	Chimera	EGF-R	CRC/HNC	Imclone/BMS/Merck	2003
Zenapax	Humanized	CD25	Transplantation	Roche	1997
Herceptin	humanized	Her2/neu	Breast cancer	Roche/Genentech	1998
Synagis	Humanized	RSV	Virus infection	Abbott	1998
Mylotarg	Humanized	CD33	AML	Celltech/AHP	2000
Campath	Humanized	CD52	CLL	ScheringAG/Millennium/ILEX	2001
Xolair	Humanized	IgE	Athma	Novartis/Genentech	2003
Raptiva	Humanized	CD11a	Psoriasis	Xoma/Genentech	2003
Avastin	Humanized	VEGF	CRC	Genentech/Roche	2004
Actemra	Humanized	IL-6R	Castleman's	Chugai	2005
Humira	Human	TNF	Inflammation	Abbott/CAT	2003
Tysabri	Humanized	VLA4	Multiple Sclerosis	Elan/Biogen	2006

市場は、1兆5千億円を越す

# 当社の戦略





# 注意事項

---

本発表において提供される資料ならびに情報は、当社経営陣が現時点において入手可能な情報によって判断したものであり、不確実である情報から得られた多くの仮定や考えによって作成されております。実際の成果は、さまざまな要素によって変化するため、業績見通し、開発見通しと大きく異なる結果となり得ることをご承知置きください。

実際の業績に影響を与える要素には、国内および国際的な経済情勢、業界ならびに市場の状況、金利および通貨為替の変動、新製品上市の遅延、導出先企業における開発の進捗の遅れ、技術的進歩、競合他社による特許の獲得、国内外の政府による法規制の変更などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。